

(ご参考)

事業報告サマリー

▶ 業績ハイライト

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
43,303百万円	6,663百万円	6,755百万円	4,368百万円
前年同期比 7.0%増 	前年同期比 0.9%増 	前年同期比 0.8%増 	前年同期比 0.5%増 

▶ おもな財務指標

総資産	純資産	1株当たり純資産
37,664百万円	22,310百万円	936.82円
前年同期比 0.8%増 	前年同期比 2.6%減 	前年同期比 74.5円増 

詳細はホームページをご覧ください

<https://ir.aucnet.co.jp/ja/ir/finance.html>

オークネット 財務

検索



事業報告 (2023年1月1日から2023年12月31日まで)

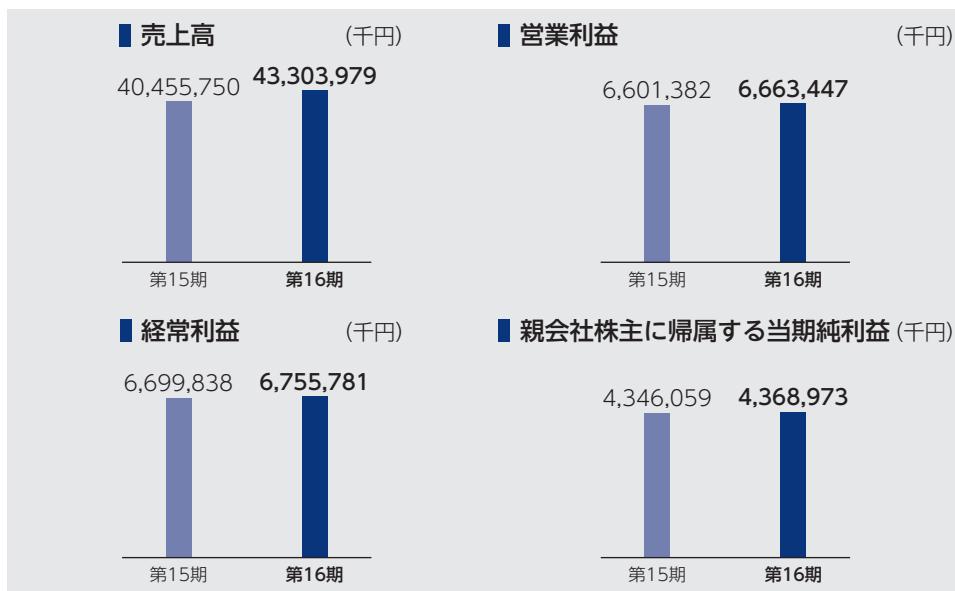
当社グループの現況に関する事項

事業の経過及びその成果

当社グループは、「価値あるモノを、地球規模で循環させる～Circulation Engine.」をサステナビリティポリシーと掲げ、循環型流通の構築に取り組んでいます。市場に出た価値あるモノを停滞させることなく循環させる仕組みづくりに寄与し、持続可能な社会に貢献する企業として、社会的価値、経済的価値の更なる向上に努めております。

2022年5月には、中期経営計画「Blue Print 2025」を策定し、当社独自の指標である「Gross Circulation Value/総循環型流通価値」を始め、EBITDA、ROE、配当性向の4つを重要経営指標としました。「Blue Print 2025」をもとに、既存事業のシェア拡大や新規事業の開拓を推進し、さらなる会員ネットワークの拡大や流通形態の多様化を目指してまいります。

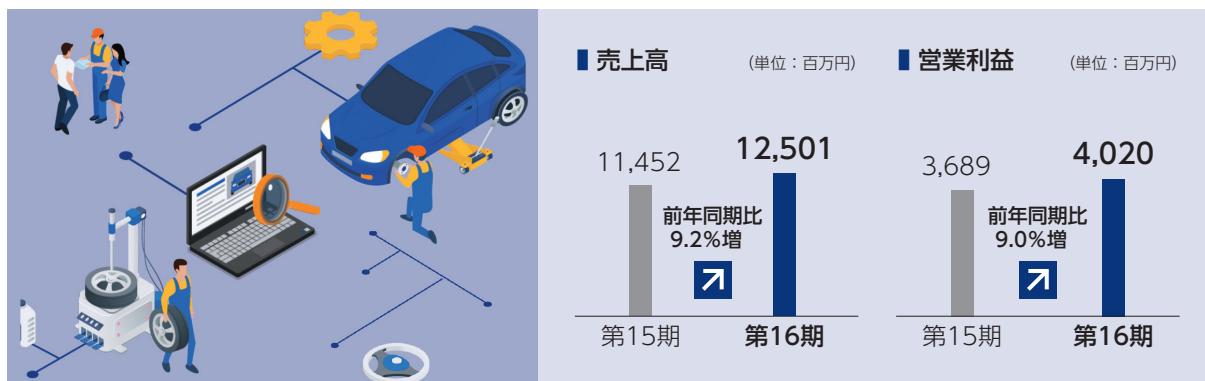
このような計画に基づき、事業を推進した結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は43,303,979千円（前年同期比7.0%増）、営業利益は6,663,447千円（前年同期比0.9%増）、経常利益は6,755,781千円（前年同期比0.8%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は4,368,973千円（前年同期比0.5%増）となりました。



セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度の期首より、従来の「四輪事業」を「オートモビル事業」に名称変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

オートモビル事業



当事業は、中古車オークション（※1）、共有在庫市場（※2）、ライブ中継オークション（※3）、落札代行サービス（※4）及び車両検査サービス（※5）等で構成されています。

当事業と関連の深い自動車業界では、当連結会計年度の新車登録台数（※6）は、前年同期比13.7%増の477万台、中古車の登録台数（※7）は、同2.1%増の643万台、中古車オークション市場の出品台数（※8）は、同14.6%増の796万台、成約台数（※8）は、同9.6%増の517万台となりました。

当連結会計年度において、新車登録台数及び中古車オークション市場の出品、成約台数が年間を通して前年同期を大きく上回る結果となりました。

車両検査サービスでは、主に中古車情報誌認定検査の需要が高く、年間検査台数が過去最高となったため増収増益となり、セグメント利益に大きく貢献しました。

落札代行サービス及びライブ中継オークションでは、中古車オークション市場が継続して活況であり、落札台数が好調に推移したため増収増益となりました。また、子会社と連携した営業活動により会員数が継続的に増加しました。

自社開催の中古車オークションでは出品及び成約台数が増加し、共有在庫市場では、輸出業者会員との連携を強化したことにより落札台数が復調傾向となりました。

この結果、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む。）は12,501,307千円（前年同期比9.2%増）、営業利益は4,020,556千円（前年同期比9.0%増）となりました。

- （※1）中古車オークションとは、当社が主催するオンラインで行う会員制のリアルタイムの中古車オークションのことです。
- （※2）共有在庫市場とは、当社の会員ネットワークを活用し、会員が所有する中古車店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場のことです。
- （※3）ライブ中継オークションとは、当社が業者間取引の市場である現車オークション会場と提携し、現車オークション会場が主催するオークションを中継するサービスのことです。
- （※4）落札代行サービスとは、株式会社アイオークが業者間取引の市場である現車オークション会場等に出品される中古車の落札・出品・決済・輸送の代行を行うサービスのことです。
- （※5）車両検査サービスとは、株式会社AISが出品車両の検査及び車両検査技能に関する研修を行うサービスのことです。
- （※6）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料より
- （※7）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会の統計資料より
- （※8）2023年ユーストカー総合版＋輸出相場版より

デジタルプロダクツ事業



当事業は、中古スマートフォン・中古PC等の中古デジタル機器のオークション及び流通に付随するサービスで構成されています。

デジタルマーケティングの活用により新規バイヤー数が年間を通して継続的に増加した一方で、端末価格の高騰や端末の買い替えサイクルの長期化の影響により流通台数の減少傾向が続き、取扱高は前年同期比で縮小しました。

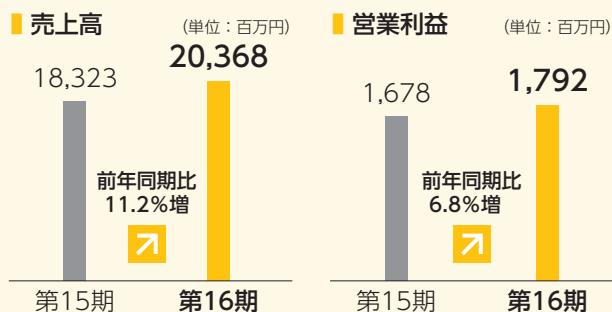
プラットフォーム機能をさらに強化するため、海外支店運営や業務の効率化を目的とした既存システムの改修、経済学的知見に基づいた新オークション方式の導入による利便性の向上、C向けトレードインサービスの導入による調達先の多様化に注力するなど積極的な投資を実施しました。

また、当第4四半期においては、ソーシング先の多様化やグローバルバイヤー網の拡大によるバイイングパワーの強化に注力した結果、流通台数が復調傾向となりました。

この結果、当事業の売上高は6,732,957千円（前年同期比2.4%減）、営業利益は4,155,196千円（前年同期比8.7%減）となりました。



コンシューマープロダクツ事業



当事業は、ブランド品のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスで構成されています。

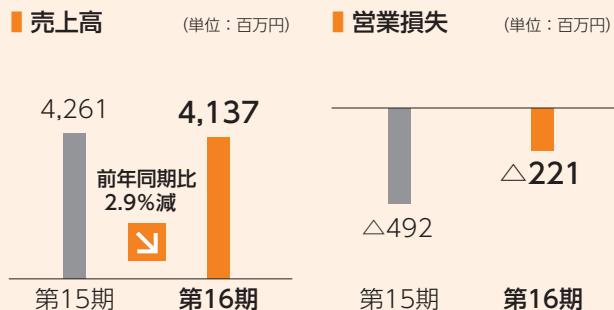
B2B事業では、デジタルマーケティングにより新規会員数が堅調に推移したことに加え、大手企業との提携により高単価商品の出品が増加し、取扱高が拡大した結果、前年同期比増収増益となりました。

C向け事業では、インバウンド需要により販売顧客数が増加し増収となったものの、下期以降に取扱商品の相場下落のトレンドが続ぎ、買取・販売コントロールを行った結果、粗利率が想定を下回り前年同期比減益となりました。

また、グローバルビジネス拡大のため、欧州・米国拠点において、新規会員獲得やオペレーション機能の強化などを推進しました。

この結果、当事業の売上高は20,368,774千円（前年同期比11.2%増）、営業利益は1,792,660千円（前年同期比6.8%増）となりました。

その他



当事業は、中古バイク及び花きのオークション、サーキュラーコマース事業（医療関連事業を含む。）及び海外事業等で構成されています。

当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む。）は4,137,378千円（前年同期比2.9%減）、営業損失は221,751千円（前年同期は営業損失492,037千円）となりました。

取扱状況

内 容		期 別	第 15 期	第 16 期	前年同期比
			2022年1月1日から 2022年12月31日まで	2023年1月1日から 2023年12月31日まで	
オート モビル 事業	オークション関連	取 扱 高	388,398百万円	442,137百万円	13.8%
		総成約・落札台数	435,443台	502,616台	15.4%
	会 費	会 員 数 (※1)	14,949会員	15,142会員	1.3%
	検 査 料	検 査 台 数 (※2)	1,086,022台	1,262,908台	16.3%
デジタル プロダクツ 事業	取 扱 高		44,765百万円	42,394百万円	△5.3%
	流 通 台 数		1,804,551台	1,578,371台	△12.5%
	会 員 数 (※3)		1,337会員	1,779会員	33.1%
コンシュー マープロダ クツ事業	B 2 B 事 業	取 扱 高	38,473百万円	44,063百万円	14.5%
		出 品 点 数	1,026,154点	1,066,733点	4.0%
		成 約 点 数	689,968点	715,832点	3.7%
		会 員 数 (※3)	4,092会員	4,862会員	18.8%
	C 向 け 事 業	取 扱 高	10,788百万円	11,692百万円	8.4%
その他	取 扱 高		20,774百万円	20,698百万円	△0.4%

(※1) 会員数は当連結会計年度末日現在のものです。

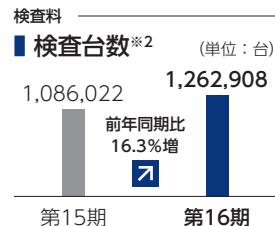
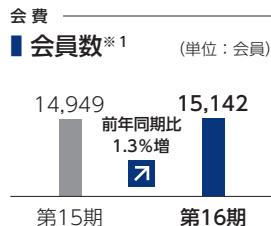
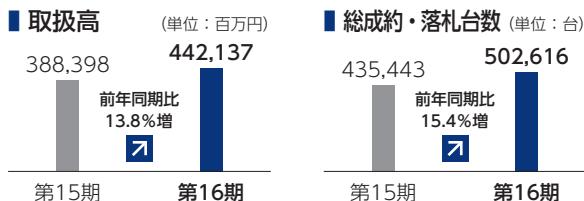
(※2) 中古バイク検査を含みます。

(※3) 会員数は当連結会計年度末日現在のものあり、海外会員を含みます。

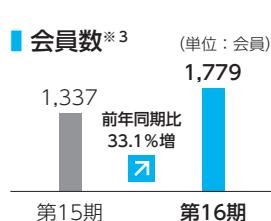
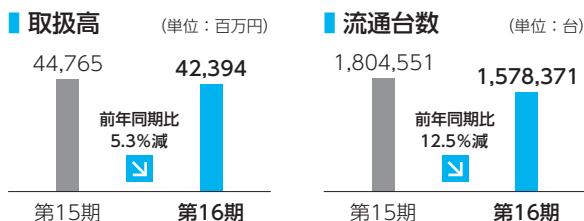
取扱状況

オートモビル事業

オークション関連

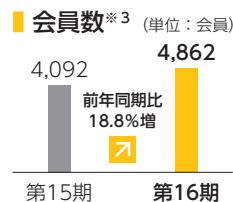
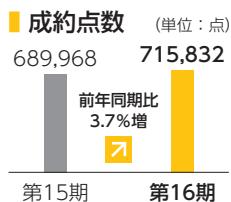
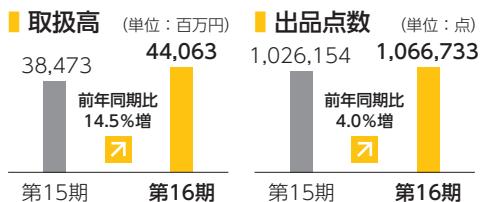


デジタルプロダクツ事業



コンシューマープロダクツ事業

B2B事業



C向け事業



その他



※1 会員数は当連結会計年度末日現在のものであります。

※2 中古バイク検査を含みます。

※3 会員数は当連結会計年度末日現在のものであり、海外会員を含みます。